

Pro-B4 1000 Air

ユーザーガイド





Profotoをお選びいただきありがとうございます。 ございます。

Pro-B4ジェネレーターをご購入いただきまして有難うございます。40年以上にわたり、弊社は完璧な光を追求してきました。弊社の原動力は、弊社がフォトグラファーのためにさらに良いツールを提供することができるという信念です。

弊社の製品はすべて出荷前に大規模で厳しいテストプログラムを受けます。製品すべてが、指定された性能、品質および安全性の基準に適合していることが確認されています。このために、プロフォト製品はパリ、ロンドン、ミラノ、ニューヨーク、東京、ケープタウンと、世界中のレンタルスタジオで広く愛用され、また、世界中で最もレンタルされているのです。

フォトグラファーの中には、Profotoの機材が使用されているかどうか、写真を見ただけで見分けることができるという人がいます。

世界中のプロのフォトグラファーは、ライティングとライトシェイピングにおいてProfotoの専門的技術を高く評価しています。弊社の豊富なライトシェイピングツールは、フォトグラファーに独自の光を作り出し、調整するための限りない可能性を提供します。

すべてのリフレクターとアクセサリは特別なライティングを作り出します。またプロフォト独自のフォーカシング・システムは、リフレクターを数種類組み合わせるだけであなた自身のライティングを作り出す可能性を提供しています。

どうぞProfoto製品をお楽しみください。

一般的な安全注意事項

安全注意事項



装置を使用する前には取扱説明書および付属の安全のための注意事項をよく読んでください。この Profoto に関する注意事項は必ず装置とともに携帯してください。Profoto 製品はプロの使用を想定して設計されています。湿気、極端な電磁場に出る可能性のある場所または可燃性ガスやほこりのある場所で装置を置いたりまたは使用してはいけません！装置を水没させたり水滴のかかる場所で使用しないでください。花瓶など液体の入った容器を装置の上やそばに置かないでください。湿度の高い状態で装置を極端に温度差のある環境に置くと装置の内部に結露が発生しますので絶対に避けてください。この装置は他メーカーのフラッシュ機器と接続しないでください。付属の保護用ガラスカバーまたは保護用グリッドが無い状態でフラッシュヘッドを使用しないでください。ガラスカバーにひび割れや深い傷など、目に見える破損があり通常の効果が得られない状態になっている場合は使用せず正常なものと交換してください。ランプが損傷したり熱で変形した場合は交換してください。ランプをホルダーに取り付ける際は絶対に素手で電球を触らないよう注意してください。装置は、公認の資格を有するサービス要員によるのみ補修、変更、修理が認められています。警告 - フラッシュシンボルが表示された端末は危険です。

4



警告 - 装置は高電圧のため、電気ショックには十分気を付けてください。
電源ジェネレーターは常に保護アース接続のある電気コンセントに接続されていなくてはなりません。Profoto 製の延長コード以外は使用しないでください！ジェネレーターやランプヘッドの蓋を開けたり、分解したりしないでください！装置は高電圧の電力で作動しています。ジェネレーターのコンデンサは電源を切った後も長時間帯電したままになっています。アンブレラの金属製の支柱をリフレクターの穴に差し込む際はモデリングランプやフラッシュチューブに触れないよう注意してください。モデリングランプやフラッシュチューブを交換する際は、ランプヘッドとジェネレーターを接続するランプヘッドケーブルを取り外してから行ってください。電源プラグまたは電源接続器は、断路器として使用されます。断路器はすぐに動作可能な状態を保つことができます。バッテリー（バッテリーパックまたは取り付けられたバッテリー）は、太陽光、火などの過度の熱に露出させてはなりません。



注意 - やけどの危険 - 高温部品

装置の高温になっている部分には素手で触れないでください。モデリングランプ、フラッシュチューブ、その他いくつかの金属の部品は使用中に高温を発生します！モデリングランプやフラッシュチューブを人に向ける場合は充分注意して、近づけすぎないようにしてください。全てのランプはごくまれに爆発し、高温の破片が飛び散ることがあります！モデリングランプに接続する電源がユーザーガイドの技術資料の電源の欄に書かれている定格電圧に合致していることを必ず確認してください！

NOTICE

注意 - 装置が高温になる危険性

ランプヘッドの保護キャップは使用前に外してください！フィルターや拡散性の物質を装置の吸気口や排気口の前に置いて空気の流れを妨げたり、ガラスカバーやモデリングランプ、フラッシュチューブの上に直接それらの物を置くことは絶対に避けてください！

RFに注意!

この装置は、無線周波スペクトルを用い、無線周波エネルギーを発生します。デバイスがシステムに組み込まれている場合は、適切な処置を取る必要があります。必ず本文書に記載のすべての仕様、特に動作温度と供給電圧範囲に従ってください。デバイスが現地の規制に基づいて作動していることを確認してください。本デバイスが使用している周波数スペクトルは他のユーザーと共有されています。干渉を避けることはできません。



廃棄

装置は環境に有害である可能性のある電気および電子部品を含みます。装置はプロフォト代理店に無料でご返却いただき、WEEEに従ってリサイクルすることができます。製品寿命が終わったとき、廃棄物の個別処分のための現地の法的要件、例えばヨーロッパ市場での電気および電子器具のためのWEEE指令を遵守してください。

目次

一般的な注意事項.....	4
各部名称.....	6
クイックスタートガイド.....	7
ジェネレーターのパッケージ取り付け.....	7
ランプヘッドの接続.....	7
ジェネレーターの起動.....	7
光の出力および設定の変更.....	7
ジェネレーターの機能.....	8
バッテリー.....	8
バッテリーインジケータ.....	8
電源オン/オフ.....	9
エネルギーのコントロールおよび範囲.....	9
閃光時間とモードコントロール.....	10
モデリングライトコントロール.....	11
Profoto Airを介したシンクロおよびコントロール.....	11
ケーブルまたはIRスレイベを介したシンクロ.....	12
チャージ完了音.....	13
チャージ完了前のフラッシュ機能.....	13
テスト機能.....	13
USBポート.....	13
安全保護機能.....	13
トラブルシューティング.....	14
テクニカルデータ.....	16
さまざまなエネルギー設定での閃光時間.....	17
アクセサリ.....	21
ヘッド.....	21
バッグ.....	21
保証.....	21
規制情報.....	22
無線周波スペクトルの世界での使用.....	22
米国とカナダ.....	22
日本.....	23

各部名称



- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. Profoto Airアンテナ | 12.チャージスピードコントロール |
| 2. シンクロソケット | 13.モードコントロール |
| 3. ランプヘッドコネクタA | 14.ディスプレイA |
| 4. フォトセル | 15.ディスプレイB |
| 5. 電源ボタン (ON/OFF) | 16.コントロールA |
| 6. ディスプレイボタン | 17.コントロールB |
| 7. インジケータディスプレイ | 18.モデリングライトタン |
| 8. ランプヘッドコネクタB | 19. チャージ完了ランプおよびテストボタン |
| 9. USBポート | 20.チャージソケット |
| 10.シンクロコントロール | 21.バッテリーロック |
| 11.モデリングライトコントロール | |



クイックスタートガイド

ジェネレーターのパッケージ取り付け

バッテリーをジェネレーターに最後まで押し込みます。両方のバッテリーロック[21]がしっかりとバッテリーをロックしていることを確認してください。

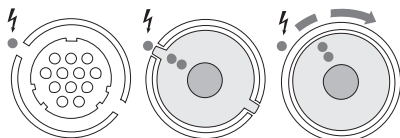
ランプヘッドの接続

Profotoの特殊なランプヘッド接続により、ジェネレーターをオンにしても、ヘッドを安全に着脱できます。

ランプヘッドを一つのみ使用している場合、ランプヘッドソケットA[3]にランプを接続します。

1. ランプヘッドソケットA[3]またはB[8]の保護カバーを外します。
2. ランプヘッドプラグを接続する際、プラグの白い点をジェネレータのパネルの白い点に合わせてください。プラグ上のリングを時計回りに回すことにより固定します。

ランプヘッドの接続



ジェネレーターの起動

1. 電源ボタン(オン/オフ)[5]を押して、ジェネレーターをオンにします。
2. ジェネレーターが充電完了すると、充電完了ランプ[19]が光ります。

光の出力および設定の変更

1. コントロールA[16]およびコントロールB[17]を使用して、コネクタAおよびBの光の出力を調整します。
2. モードコントロール[13]は通常、NORMAL(通常)に設定されていなければなりません。短い閃光時間には、モードコントロールをFREEZE(フリーズ)に設定します。両方のチャンネルにおいて対称的なエネルギーレベルを得るには、モードコントロールをMASTER(マスター)に設定します。
3. モデリングライトコントロール[11]をSET TIME(時間設定)に設定します。モデリングライトの設定がディスプレイA[14]およびB[15]に表示されます。CONT: 連続オンおよび数秒後の自動オフ。コントロールA[16]またはB[17]を使用して設定を変更します。
4. モデリングライトコントロール[11]を使用してモデリングライトモードを、MAX PROP、MAXまたはPROPから選択します。モデリングライトをオンにするにはモデリングライトボタン[18]を押します。
5. チャージコントロール[12]を使用してBEEP(ピープ音)、BUZZ(ブザー音)またはOFF(オフ)を選択します。
6. シンクロコントロール[10]を使用してシンクロまたは無線チャンネルを選択します。シンクロコードを使用の場合はOFF(オフ)、IRTトランスミッタを使用の場合はSLAVE(スレイブ)を選択します。Air無線シンクロを使用している場合、チャンネルをSET(設定)に設定した後、RADIO(無線)を選択してAir無線レシーバを起動します。

ジェネレーター の 機能

バッテリー

Pro-B4ジェネレーターは、交換可能なリチウムイオンバッテリーを搭載しています。ジェネレーターは、バッテリーなしでは作動しません。バッテリーは少しの動作で容易に取り外し可能です。

1. バッテリーをジェネレーターに最後まで押し込みます。両方のバッテリーロック[21]がしっかりとバッテリーをロックしていることを確認してください。
2. バッテリーの各サイドのバッテリーロック[21]を押し、バッテリーのカセットを外します。バッテリーを引き抜きます。

付属のPro-B4用バッテリークイックチャージャーを使用してバッテリーを充電します。バッテリーはジェネレーターから取り外しても、また搭載したままでも充電可能です。Pro-B4ジェネレーターは充電中も使用可能です。チャージャーは、チャージソケット[20]を介してバッテリーに接続します。

1. チャージソケット[20]の保護カバーを外し、Pro-B4バッテリーチャージャーのケーブルを接続します。パヨネット式コネクタプラグを回してチャージャーのケーブルを固定します。
2. Pro-B4バッテリーチャージャーのLEDが赤色になり、充電が進行中であることを知らせます。
充電が完了すると、LEDが緑色に切り替わります。

バッテリーは、メモリー効果がなく、どんなチャージレベルからでも充電できますが、必要以上に長い時間充電しないでください。バッテリー寿命を延ばすために、保管前にはフル充電してください。

注意:

欠陥のあるバッテリーは、リサイクルのために販売店に返品する必要があります。

注意:

バッテリーは危険物輸送規則の対象となっています。Pro-B4のバッテリーの輸送は制限付きで認定・承認されています。バッテリーの持ち運びについての詳細な情報および資料は、www.profoto.comよりダウンロードできます。

バッテリーインジケータ

バッテリーインジケータは インジケータディスプレイ[7]に表示されます。バッテリーインジケータには3つのセクションがあり、全容量に対する割合に基づいてバッテリー残量を示します:

3セクション: 100-70%

2セクション: 70-40%

1セクション: 40-10%

0セクション: <10%

ジェネレーター使用時にバッテリーを充電する場合、バッテリーインジケータはセクションを切り替え、充電中の表示がされます。

ディスプレイボタン[6]を押して、オプションの、光の出力または閃光時間のディスプレイモードが選択されている場合、バッテリーインジケータは表示されません。

注意:

充電中にモデリングライトを使用している場合、バッテリー表示が変動することがあります。この場合、バッテリーをフル充電すると、バッテリーがリセットされます。

電源オン/オフ

ジェネレーターは、電源ボタン(ON/OFF)[5]を押して、手動で電源を入れます。

ジェネレーターは、停止の状態が30分間続くと、自動的に電源がオフになります。手動で電源をオフにするには、電源ボタン(ON/OFF)[5]を押します。

注意:

操作されない状態がしばらく続くと、バッテリーの節約のために、ディスプレイ、インジケータおよび照明パネルのバックライトは、薄暗くなります。

エネルギーのコントロールおよび範囲

コントロールA[16]およびコントロールB[17]は、それぞれコネクタAおよびBのエネルギーレベル(光の出力)を調整するために使用します:

- ・ コントロールを時計回りに回すとエネルギーレベルが1/10fストップずつ上がり、反時計回りに回すと下がります。
- ・ コントロールを押したまま時計回りに回すとエネルギーレベルが1fストップずつ上がり、反時計回りに回すと下がります。

ディスプレイA[14]およびB[15]は選択したエネルギーレベルを表示します。ランプヘッドがオフの時は、OFFと表示されます。

それぞれのモデリングライトボタン[18]を3秒間押し続けることで、ランプヘッドをオフにできます。再びモデリングライトボタン[18]を押すと、オンにできます。

デフォルトのエネルギー読み取り値は、fストップです。エネルギーをWsスケールで表示するには、ディスプレイボタン[6]を押します。Wsスケールが選択されている場合、Wsがインジケータディスプレイ[7]に表示されます。

光の出力は、11fストップ(0.1-10.0)で調節可能ですが、範囲はモードコントロール[13]設定によります。

モードコントロール[13]をFREEZEに設定すると、コネクタAのエネルギー範囲は0.1-5.8(1-54.4Ws)に制限されます。両方のコネクタ(AおよびB)を使用の場合、各コネクタの最大出力は4.7(25.4Ws)です。コネクタBの最大出力は、FREEZEモードでは常に4.7(25.4Ws)に制限されています。FREEZEモードは極度に短い閃光時間を得るために構成されています。詳細については、閃光時間とモードコントロールのセクションを参照してください。

モードコントロール[13]をNORMALに設定すると、コネクタAのエネルギー範囲は2.0-10.0(3.9-1000Ws)に制限されます。両方のコネクタを使用の場合、各

コネクタの最大出力は9.4(660Ws)です。コネクタBの最大出力は、NORMALモードでは常に9.4(660Ws)に制限されています。NORMALモードは短い閃光時間および最適な色温度を得るために構成されています。詳細については、閃光時間とモードコントロールのセクションを参照してください。

モードコントロール[13]をMASTERに設定すると、エネルギーレベルはコネクタAおよびB、同時に調整されます。コントロールA[16]またはコントロールB[17]は、両方のコネクタに対しエネルギーレベルを調整するために使用できます。

注意:

ジェネレーターには自動ダンピング機能があり、出力が低下すると、自動的に放電します。自動ダンピングは、主に安全上の理由からの装備であるため、非常に遅いものです。出力低下時には、フラッシュを発光させることでジェネレーターをより早く放電させることができます。

閃光時間とモードコントロール

Pro-B4は、すべてのエネルギー設定において非常に短い閃光時間を備えています。フル出力でさえ、1/2,400秒と短いです。短い閃光時間は、動いている物体の動きを止めることができる利点に加えて例えば、屋内の周辺光や直射日光からの露出の影響を遮断することができるという利点もあります。

閃光時間は、ディスプレイボタン[6]を押し、ディスプレイA[14]およびB[15]に表示できます。Wsスケールが選択されている場合、1/sがインジケータディスプレイ[7]に表示されます。

閃光時間はエネルギーレベル設定により変化します。「テクニカルデータ」セクションを参照してください。モードコントロール[13]がFREEZEモードに選択され、エネルギーが4.7fストップ(25.4 Ws)に設定されている場合、最も短い閃光時間が得られます。この設定での閃光時間は、1/25,000秒です。

上記の通り、閃光時間はモードコントロール[13]設定によります。さまざまな撮影状況に対し、モードが構成されています。

- FREEZE: 極度に短い閃光時間と素早いチャージの実現に最適化されています。極度に短い閃光時間または高速な写真撮影が必要な状況において推奨されます。
- NORMAL: 安定した光の出力と中間的な色温度の実現に最適化されています。すべての出力設定において閃光時間は短く設定されています。この設定は多くの撮影状況に適しています。
- MASTER: NORMALモードとほぼ同様のモードですが、コントロールA[16]またはコントロールB[17]を回すことにより、出力AおよびBのエネルギーが同時に調整されます。

注意:

モードをNORMALまたはMASTERに設定すると、両方のコネクタの光の出力の調整できる範囲が変わります。詳細については、エネルギーのコントロールおよび範囲のセクションを参照してください。

モデリングライトコントロール

両方のコネクタの最大モデリングライトは合計500 Wです。ランプヘッドの実行ワット数によらず、モデリングライトは自動的に最大500 Wとなります。

モデルボタン[18]は、それぞれコネクタAおよびBのモデリングライトのオン/オフに使用します。モデリングライトがオンの場合、対応するディスプレイ[14]および[15]にMが表示されます。

モードコントロール[11]をSET TIMEに設定し、コントロールA[16]またはB[17]に回すと、モデリングライトは連続オンまたは遅延時間を伴った自動オフに設定できます。この設定は両方のコネクタに適用されます。

- ・ 連続オンの場合、モデリングランプはリサイクル中またはエネルギー出力の変更時に消灯されます。このモードの場合、ランプヘッド(500、250または100 W)および発光されたフラッシュの数により、バッテリーは10~45分以内に放電されます。
- ・ バッテリー節約のために、モデリングライトは、一定の時間(10~120秒、10秒単位で選択可能)、自動的にオフにすることができます。

モデリングライトコントロール[11]は、モデリングライトモードの選択に使用します:

- ・ MAX PROP: あるランプヘッド(エネルギーレベルが最大のもの)に最大の光が必要な場合MAX PROP(最大比例)モードを使用します。ランプヘッドのモデリングライトは、最大の強度を得ることができ、他のランプヘッドは比率に対応します。そのため、モデリングライトは直接調整していないランプヘッド上でも変更されることとなります。
- ・ MAX: 選択したエネルギーレベル(光の出力)に関係なく、モデリングランプは最大の強度になります。
- ・ PROP: 各ランプヘッドのモデリングライト強度は、選択されたエネルギーレベル(光の出力)の比率に応じて自動的に調整されます。

Profoto Airを介したシンクロおよびコントロール

Profoto Air無線システムは、Pro-B4ジェネレーターに完全に組み込まれており、無線によるリモートシンクロおよびカメラからのコントロールが可能です。Profoto Airは数あるワイヤレスシンクロシステムの中でも最も速いワイヤレス伝送を可能にし、最大300メートルの範囲をカバーします。'詳細についてはwww.profoto.com参照してください'

無線によるシンクロ/リモート操作の場合、ジェネレーター内のProfoto Airレシーバを有効にし、無線チャンネルを選択する必要があります。8つの同期チャンネル(1~8)が選択可能で、各チャンネルはリモートコントロールのために6つのロジックグループ(A~F)に分けることができます。グループ選択によって、例えば、背景光などの複数のランプヘッドから構成された大きなライトバンクを一つの光源として操作することができます。Profoto Airレシーバのチャンネル/グループ設定および起動はシンクロコントロール[10]を介して行います。

1 2つのハンドヘルドAir Syncユニット間で良好な環境での測定。

1. シンクロコントロール[10]をSET(設定)に設定します。ランプヘッドの無線チャンネルおよびグループ設定はディスプレイA[14]およびB[15]に表示され、無線チャンネル番号(1~8)の後にグループの文字(A~F)が表示されます。
2. コントロールA[16]またはB[17]を時計回りに回すとジェネレーターの無線チャンネルの番号が増え、反時計回りに回すと減ります。
3. コントロールA[16]を時計回りに押し回すとランプヘッドA[3]のグループ設定が進み、反時計回りに回すと減ります。
4. コントロールB[17]を時計回りに押し回すとランプヘッドB[8]のグループ設定が進み、反時計回りに回すと減ります。
5. シンクロコントロール[10]をRADIO(無線)に設定します。

以上でジェネレーターのワイヤレス使用の設定が完了です。

ジェネレーターはProfoto Air RemoteまたはProfoto Air Syncを介してカメラと同期することができ、Phase One/Mamiya 645DFカメラには、Phase One/Mamiya V-Grip Air 垂直グリップを介して同期することができます。

ジェネレーターは、Profoto Air Remote を使用してカメラから、またはProfoto Studio 3ソフトウェアを使用したコンピューターに接続されたProfoto Air USBを介してリモートコントロールが可能となります。

注意:

Profoto Airシステムは2.4GHz帯域内の8つの周波数で動作します。周波数は、信頼できる機能性を最大限得るために全体の周波数帯に均等に割り当てられます。多く用意された無線チャンネルは、Profoto Air を使用する他のフォトグラフィアやWLAN、Bluetoothデバイスと広く使用される同じ2.4GHz周波数帯で動作する他の無線装置と干渉しないチャンネルを選ぶことを可能にします。

最適な無線操作を行うため、以下の点に注意してください:

- ・ 電源、シンクロおよびランプヘッドのコードをProfoto Airアンテナ[1]から離してください。
- ・ 可能な限り、トランスミッター(Profoto Air Remote、Profoto Air Sync、Profoto Air USBまたはPhase One/Mamiya V-Grip Air)とジェネレーターの間に障害物がないようにしてください。
- ・ ジェネレーターを視界から隠す場合、金属の物または水が満たされた物の背後、またはそれらの物に立てかけて、ジェネレーターを隠さないようにしてください。さもないと、無線範囲に影響します。

ケーブルまたはIRスレイブを介したシンクロ

Profoto Airを使用しない場合、ジェネレーターはケーブルまたはIRスレイブを介してシンクロすることができます。ケーブルを介してシンクロする場合、シンクロコントロール[10]をOFF(オフ)に設定し、カメラのシンクロケーブルをジェネレーターのシンクロソケット[2]に接続します。

シンクロコントロール[10]をSLAVE(スレイブ)に設定することにより、フォトセル[4]を起動できます。フォトセル[4]が起動すると、ジェネレーターはほとんどのIRシンクロトランスミッターからのフラッシュの発光および信号を感知します。

注意:

シンクロコントロールがSLAVEに設定されている場合、無線シンクロは無効となりますが、無線リモートコントロールは使用可能です。

チャージ完了音

ジェネレーターが完全にチャージされ、フラッシュの準備ができると、チャージ完了ランプ[19]が光ります。エネルギーレベルが変更されると、チャージ完了ランプ[19]とモデリングライトが消灯し、エネルギーのダンピングおよび充電が進行中であることを示します。

チャージコントロール[12]は、チャージ完了信号の選択に使用します:

- ・ BEEP: 短い音声信号が、ジェネレーターのチャージ完了を通知します。
- ・ BUZZ: 複数の「ビーブ」音を伴う音声信号が、ジェネレーターがチャージ中であることを通知します。
- ・ OFF: チャージ完了信号をオフにします。

チャージ完了または自動ダンピングが完了する前にフラッシュが発光すると、長い「ビーブ音」が鳴ります。詳細については、チャージ完了前のフラッシュ機能のセクションを参照してください。

ジェネレーターが自動的にオフになる前に(使用していないときは30分後)、短い「ビーブ音」が何回も鳴ります。

チャージ完了前のフラッシュ機能

「チャージ完了前のフラッシュ」機能は、ジェネレーターのチャージまたは自動ダンピングが完全に終了していない段階でフラッシュを発光できるようにするものです。ジェネレーターが100%チャージされていない状態で発光すると、長いビーブ音が鳴り、不適切な露出の画像であることを知らせます。当然、フラッシュの強度は設定よりも弱くなっているかもしれません。不適切な露出の影響が非常に小さいため、大きな違いが出ず、瞬間の捕らえ方が完璧であった場合、その画像は使用可能であるかもしれません。

テスト機能

テストボタン[19]は全てのライトが正しく設定されているか、正常に機能しているかをテストするために使用します。テストボタン[19]を押すと、ジェネレーターのフラッシュが発光し、チャージ完了ランプ[19]が消灯します。ジェネレーターのリサイクルが完了すると、チャージ完了ランプ[19]が再び点灯します。

USBポート

USBポート[9]は、ジェネレーターファームウェアのアップグレードに使用します。ポートはPro-B4をUSBケーブルを介してPCやMacに接続するためには使用できません。

安全保護機能

Pro-B4ジェネレーターは、ファンを搭載しており、筐体は、効率的に熱を放散する鋳造アルミニウムで作られています。ジェネレーターを高いエネルギーレベルで稼働させていたり、ジェネレーターを温度の高い環境で使用している場合、ファンが自動的に起動します。オーバーヒートのおそれがある場合、ジェネレーターのリサイクルは遅くなる、または停止します。ジェネレーターまたはバッテリーがオーバーヒート状態になると、「ot」がディスプレイに表示されます。時間が経って温度が充分下がると、ジェネレーターは通常通り作動を開始します。

バッテリーレベルが低すぎる場合、過放電を防ぐために、ジェネレーターは自動的にシャットダウンします。

トラブルシューティング

症状	診断	措置
ジェネレーターが起動しません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーが取り付けられていません。 ・ バッテリー残量が低すぎます。 ・ バッテリーの温度が低すぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーが正しく取り付けられていること、バッテリーロックがしっかりとバッテリーをロックしていることを確認してください。 ・ バッテリーを交換または充電してください。 ・ 使用前にバッテリーをウォームアップしてください。
バッテリーインジケータが表示されません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ Wsスケールまたは閃光時間が選択されている場合、Wsまたは1/sがインジケータディスプレイ[7]に表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーインジケータがインジケータディスプレイ[7]に表示されるまでディスプレイボタン[6]を押します。
両方のチャンネルのエネルギーレベルが同時に変化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ モードコントロール[13]がMASTERに設定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モードコントロール[13]をNORMALに設定してください。
モデリングライトが点灯しません。	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデリングライトがオンの状態でないかもしれません。 ・ ランプソケットが無効になっているかもしれません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデリングライトをオンにするにはモデリングライトボタン[18]を押します。対応するディスプレイ[14]または[15]にMが表示されます。 ・ ヘッド後部のモデリングライトスイッチが「オン」になっているか確認してください。
一つのチャンネルのエネルギーレベルが調整されると、その他のモデリングライトが変化します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデリングライトコントロール[11]がMAX PROPに設定されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ モデリングライトコントロール[11]をMAXまたはPROPに設定してください。
ディスプレイ、インジケータやバックライトが薄暗いです。	<ul style="list-style-type: none"> ・ これはまったく正常です。1分間操作されないと、バッテリー節約のために薄暗くなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボタンを押す、またはコントロールを回すと、バックライトが再度点灯します。

症状	診断	措置
ジェネレーターの電源が自動的にオフになります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリー残量が低すぎます。 ・ 30分の停止後、ジェネレーターの電源はオフになります。これはまったく正常です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーを交換してください。 ・ 電源ボタン (ON/OFF) [5] を押して、ジェネレーターをオンにします。
リサイクルが遅い、または、完全に停止しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジェネレーターまたはバッテリーがオーバーヒートしていません。 ・ バッテリーの温度が低すぎます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通気を確保し、温度が下がるまでお待ちください。温度が十分に下がると、ジェネレーターは通常でリサイクルを自動的に開始します。 ・ 使用前にバッテリーをウォームアップしてください。

テクニカルデータ

すべてのデータは公称値であり、プロフォト社は予告なしに変更する場合があります。

出力	1000 Ws
出力範囲	1-1000 Ws (0.1-10.0) Normal(通常)モード: 2.0-10.0 Freeze(フリーズ)モード: 0.1-5.8
出力制御単位	1/10および1/1fストップ
不均等制御	フルアシンメトリー、チャンネルB最大9.4 (660Ws)
リサイクルチャージ	Normal(通常)モード: 0.03 - 0.99秒 Freeze(フリーズ)モード: 0.03 - 0.1秒
色温度安定性	Normal(通常)モード: ± 150° K(エネルギー範囲内) ± 20° K(フラッシュ間) Freeze(フリーズ)モード: ± 800° K(エネルギー範囲内) ± 150° K(フラッシュ間)
出力安定性	Normal(通常)モード: 1/100 fストップ(フラッシュ間) Freeze(フリーズ)モード: 1/20 fストップ(フラッシュ間)
ランプソケット数	2
モデリングライト	合計最大500 W(連続または時間制御)
自動ダンピング	搭載
バッテリータイプ	リチウムイオン(LiFePO4)
バッテリー容量	220 @ フル充電 >50,000 @ 分 チャージャーが接続されている場合は無限(ただし、使用量による)
バッテリー寿命	充電回数1 200回(80%の容量維持)
バッテリーステータスインジケータ	搭載
バッテリーチャージ時間	45 min
自動電源オフ	搭載
運転温度範囲	-10° C ~ +50° C バッテリーの温度が0° Cを下回ると、パフォーマンスが制限されます。
ストレージ温度範囲	-20° C ~ +50° C
有線シンクロ	搭載、1ソケット(1/4")

フォトセル/IRスレイベ	搭載
無線シンクロ	搭載、内蔵Profoto Air
無線リモートコントロール	搭載、内蔵Profoto Air
無線範囲	内蔵無線で最大100メートル。2台の手持ちトランシーバー間でProfoto Airは、最大300mの範囲をサポート。
コンピュータ制御	搭載、Profoto Airを介したProfoto Studio
サイズ	25.5 x 18.5 x 25 cm
重量	9.8 kg (バッテリーを含む)

さまざまなエネルギー設定での閃光時間

NORMAL (通常)モード		FREEZE (フリーズ)モード	
閃光時間 (t0.5)	エネルギー/光の出力	閃光時間 (t0.5)	エネルギー/光の出力
1/2400秒	10.0	-	-
1/2400秒	9.9	-	-
1/2400秒	9.8	-	-
1/2200秒	9.7	-	-
1/2200秒	9.6	-	-
1/2200秒	9.5	-	-
1/3000秒	9.4	-	-
1/3000秒	9.3	-	-
1/3000秒	9.2	-	-
1/3000秒	9.1	-	-
1/3000秒	9.0	-	-
1/3000秒	8.9	-	-
1/3000秒	8.8	-	-
1/3200秒	8.7	-	-
1/3200秒	8.6	-	-
1/3200秒	8.5	-	-
1/3200秒	8.4	-	-
1/5000秒	8.3	-	-

NORMAL(通常)モード		FREEZE(フリーズ)モード	
閃光時間 (t0.5)	エネルギー/光 の出力	閃光時間(t0.5)	エネルギー/光の 出力
1/5000秒	8.2	-	-
1/5000秒	8.1	-	-
1/5500秒	8.0	-	-
1/5500秒	7.9	-	-
1/5500秒	7.8	-	-
1/5500秒	7.7	-	-
1/5500秒	7.6	-	-
1/5500秒	7.5	-	-
1/5500秒	7.4	-	-
1/5000秒	7.3	-	-
1/5000秒	7.2	-	-
1/5000秒	7.1	-	-
1/5000秒	7.0	-	-
1/5000秒	6.9	-	-
1/5000秒	6.8	-	-
1/4500秒	6.7	-	-
1/4500秒	6.6	-	-
1/4500秒	6.5	-	-
1/4500秒	6.4	-	-
1/4500秒	6.3	-	-
1/4500秒	6.2	-	-
1/4500秒	6.1	-	-
1/4500秒	6	-	-
1/4000秒	5.9	-	-
1/4000秒	5.8	1/18000秒	5,8
1/4000秒	5.7	1/17500秒	5,7
1/4000秒	5.6	1/17500秒	5,6
1/4000秒	5.5	1/17000秒	5,5

NORMAL(通常)モード		FREEZE(フリーズ)モード	
閃光時間 (t0.5)	エネルギー/光 の出力	閃光時間(t0.5)	エネルギー/光の 出力
1/4000秒	5.4	1/17000秒	5.4
1/4000秒	5.3	1/17000秒	5.3
1/4000秒	5.2	1/16500秒	5.2
1/4000秒	5.1	1/16500秒	5.1
1/4000秒	5	1/16500秒	5
1/4000秒	4.9	1/16500秒	4.9
1/4000秒	4.8	1/16000秒	4.8
1/3500秒	4.7	1/25000秒	4.7
1/3500秒	4.6	1/25000秒	4.6
1/3500秒	4.5	1/25000秒	4.5
1/3000秒	4.4	1/23000秒	4.4
1/3000秒	4.3	1/23000秒	4.3
1/3000秒	4.2	1/23000秒	4.2
1/3000秒	4.1	1/21000秒	4.1
1/2500秒	4	1/21000秒	4
1/2500秒	3.9	1/21000秒	3.9
1/2500秒	3.8	1/21000秒	3.8
1/2500秒	3.7	1/20000秒	3.7
1/2500秒	3.6	1/20000秒	3.6
1/2500秒	3.5	1/20000秒	3.5
1/2500秒	3.4	1/19000秒	3.4
1/2500秒	3.3	1/19000秒	3.3
1/2500秒	3.2	1/19000秒	3.2
1/2500秒	3.1	1/19000秒	3.1
1/2500秒	3.0	1/18000秒	3
1/2500秒	2.9	1/18000秒	2.9
1/2500秒	2.8	1/17000秒	2.8
1/2000秒	2.7	1/17000秒	2.7

NORMAL(通常)モード		FREEZE(フリーズ)モード	
閃光時間 (t0.5)	エネルギー/光 の出力	閃光時間(t0.5)	エネルギー/光の 出力
1/2000秒	2.6	1/16500秒	2.6
1/2000秒	2.5	1/16500秒	2.5
1/2000秒	2.4	1/16500秒	2.4
1/2000秒	2.3	1/16500秒	2.3
1/2000秒	2.2	1/16000秒	2.2
1/2000秒	2.1	1/16000秒	2.1
1/2000秒	2.0	1/15000秒	2
-	-	1/15000秒	1.9
-	-	1/15000秒	1.8
-	-	1/15000秒	1.7
-	-	1/15000秒	1.6
-	-	1/15000秒	1.5
-	-	1/15000秒	1.4
-	-	1/15000秒	1.3
-	-	1/14000秒	1.2
-	-	1/14000秒	1.1
-	-	1/14000秒	1
-	-	1/13000秒	0.9
-	-	1/12500秒	0.8
-	-	1/12500秒	0.7
-	-	1/12500秒	0.6
-	-	1/12500秒	0.5
-	-	1/12000秒	0.4
-	-	1/12000秒	0.3
-	-	1/12000秒	0.2
-	-	1/11000秒	0.1

アクセサリ

ヘッド

- ・ ProHeadおよびProHead Plus
- ・ ProB headおよびProB head Plus
- ・ ProRingおよびProRing Plus
- ・ ProRing2およびProRing2 Plus
- ・ ProTwin
- ・ 特別なヘッド
 - StickLight
 - MultiSpot²
 - Fresnel Spot²
 - ZoomSpot²
 - Striplights²
 - StillLights²

バッグ

- ・ Pro-B4保護バッグ

アクセサリの詳細な情報については、現地の販売店または代理店にお問い合わせください。

保証

すべてのProfotoジェネレーターおよびヘッドは出荷前に個別にテストが行われており、フラッシュチューブ、ガラスカバー、モデリングランプ、ケーブルを除いて2年間保証(国により異なる場合があります)が付いています。Profotoは、誤使用または他社製アクセサリーの使用による技術的不具合については責任を負いません。何らかの技術的問題がある場合は、認定Profotoサービスステーションにお問い合わせください。

2 使用制限あり。モデリングライトおよび冷却ファンはその効果が減少する、または無効となります。

規制情報

無線周波スペクトルの世界での使用

Profoto Air Remoteは、ライセンスフリーのSRD(ショートレンジデバイス)用2.4GHz ISM帯で作動します。この帯は、世界のほとんどの場所で使用できます。地域的な制約は適用されます。

注意:

Profoto Air SyncまたはProfoto Air Remoteユニットを使用する地域の国別規制を参照し、準拠していることを確認してください

米国とカナダ

F.C.C.とカナダ産業省

コンプライアンス声明(パート15.19) このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ産業省のRSS-210に準拠しています。操作は次の2つの条件に従います:

- 1) このデバイスは、有害な混信を発生させる可能性がありません。
- 2) この装置は、予期せぬ混信の影響により、操作ができなくなることがあります。

警告(パート15.21)

コンプライアンスに責任を負う当事者によって明らかに承認されないいかなる変化または修正も装置を操作するユーザの権限を無効にするでしょう。

Ce dispositif est conforme aux normes RSS-210 d'Industrie Canada. L'utilisation de ce dispositif est autorisée seulement aux conditions suivantes :

- 1) il ne doit pas produire de brouillage et
- 2) l'utilisateur du dispositif doit être prêt à accepter tout brouillage radioélectrique reçu, même si ce brouillage est susceptible de compromettre le fonctionnement du dispositif.

証明/登録番号の前の「IC」という文字は、カナダ産業省の技術仕様に適合していることを表すものです。

Les lettres 'IC' n'ont aucune autre signification ni aucun autre but que d'identifier ce qui suit comme le numéro de certification/d'enregistrement d'Industrie Canada.

Profoto AB

トランスミッタ/レシーバ

モデル: Profoto Air Sync

製品番号: PCA5108-0000

モデル: Profoto Air Remote

製品番号: PCA5102-0000

モデル: Profoto Air USB

製品番号: PCA5104-0000

FCC ID: W4G-RMI

IC: 8167A-RMI

スウェーデン製

日本

このモジュールは、日本での販売および使用許可を得ています。

特定無線設備の種類

指定無線装置の分類:

第2条、1節、19項

2.4 GHz広帯域低電力データ通信

上記のとおり、電波法第 38条の 24第 1項の規定に基づく認証を行ったものであることを証する。

これは、無線法の第38～24条第1文の条項に従って上述の証明がタイプごとに許可されていることを証明するものです。



Ⓜ 202WW08109202

Ⓜ 202WW08109203

Ⓜ 202WW08109204

技術データは予告なしに変更される場合があります。

344034-A1. スウェーデンにて印刷。

Profoto AB
SWEDEN

電話 +46 8 447 53 00
info@profoto.com
www.profoto.com



Profoto[®]
The Light Shaping Company™